

「昔より 立つとも 知らぬ

天王寺 奥の細道

とどろきの橋

天台宗 高田山 天王寺 住職住

会津美里町字高田甲二九六八

本尊 十一面観世音

駐車場 あり

トイレ なし

龍興寺の末寺で、保元三年(一一五八)に建てられ、堂はもと北東五町にありました。寛永十三年(一六三九)に現在地に移されました。寺の西に清水があり、その下流に橋があり「とどろき橋」という。戊辰戦争の一八六八年九月十八日、高田には会津藩家老の佐川官兵衛や新選組の齋藤一ら約千人が守る高田を長州藩を主力とする西軍約二千人が囲み街は焼失しました。



堂前に駐車。会津戦争で焼失した高田は、店や家を少し下げて現在のよ様に道を広くしました。

「浮き身をば 助け 給へや

観世音 導きたまへ

弥陀の浄土へ

天台宗 道樹山 龍興寺 住職住

会津美里町字龍興寺北甲二二二二一三

本尊 聖観世音

駐車場 あり

トイレ なし

国宝の一字蓮台法華経があることで知られています。堂は、もと東邦銀行高田支店の地にありましたが、現在地に移されています。本尊は木像で、永禄二年(一五五九)の銘があります。永禄三年(一五六〇)には、後の天海、当時の名を髓風といい前の地にあった堂内で得度したという。寛永六年(一六二九)と会津戦争で堂が焼失しています。



寺北側に駐車。天海大僧正と国宝の一字蓮台法華経のある寺として知られています。

「参り来て 西をはるかに

ながむれば 雨つゆしげき

古かたの沼

天台宗 雷田山 法用寺

会津美里町雀林三番山下三五五四

本尊 一面観世音 集落管理

駐車場 あり

トイレ あり

国重要文化財・県指定文化財
養老四年(七二〇)徳道上人が草創。もとは、西の山上にあったという。一六世紀までは、十六の僧房があったという。文化財も多く、仁王像と本堂は国重要文化財に指定されています。境内には、会津五楼の「虎の尾楼」や県指定の三重塔があります。正月には、藁で蛇を作り村内を歩く「へびの御年始」があります。



堂北に駐車場あり。集落内道路狭し。「巡り来て」は「参り来て」が正しい。三重塔、国重文の堂や仁王像があります。

